(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 8 月 18 日

佐賀県知事 殿

提出者

住 所 佐賀県佐賀市大和町久池井2215番地1ラ・ フォーレ大和A102

氏 名 合同会社ウィング

代表社員 峰松結衣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-97-8809

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	; (か	名	称	合同会社ウィング
事	業	場	の	所	在	地	佐賀県内事業場
計		画		期		間	令和7年4月1日~令和8年3月31日
当該	亥事美	Ě場	にお	ないて	で現に	こ行	っている事業に関する事項
	1	事	業	の	種	類	07 職別工事業(設備工事業を除く)
	2	事	業	の	規	模	資本金300万
	3	従	Ì		員	数	1 3 人
					の-) エ		

産業	廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項	Į									
	(管理体制図)											
			代表社	上員								
			営第									
			解体工	事部								
企業	- 廃棄物の排出の抑制に	関する東西										
生木	(元来が) 7月 日 V 7 時 明 (C	【前年度(令和 6	(年度)	宝结】								
		産業廃棄物の種		別紙のとおり	 別紙のとおり							
	①現状		#####################################	が成りとわり	別れのとわり							
		(これまでに実施)		t	t							
		(=,000 01 =)0,22	0 7 2 7 7 7 7 1	,								
			(3 >)									
		現場で廃棄物が混る	ぎらない	ように、手作業で丁寧に	仕分けをしている。							
		【目標】										
		産業廃棄物の種	類	別紙のとおり	別紙のとおり							
		排出:	量	t	t							
	②計画	(今後実施する予算	定の取組)								
		現場での仕分けをもっと徹底し、再生リサイクルできるものはリサイクル して、廃棄物の排出量を減らす。										
産業	 	 事項										
		(分別している産業	業廃棄物	の種類及び分別に関する	取組)							
	①現状											
	U-964V	各現場での分別を行	敵底して	いる。								
		(全谷公別する予)	マの産業	廃棄物の種類及び分別に	関 子 ス 形 細)							
			とり生未	<u> 来物の性類及の力別に</u>	大 D T N D T N D D N D D D D D D D D D D D D D							
	②計画	これまで同様、各現場での分別を徹底する。										

自身	っ行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項		
		【前年度(令和 年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		
	①現状	(これまでに実施した取組	t 乱)	t
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	○計画	(今後実施する予定の取組	E)	
自身	┃ ○行う産業廃棄物の中間	 処理に関する事項		
		【前年度(令和年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	2.00.	
		 自ら熱回収を行った		
		産業廃棄物の量	t	t
	①現状	産業廃棄物の量	t_	t
		(これまでに実施した取組	H.)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う		
		産業廃棄物の量	t	t
	②計画	産業廃棄物の量	tt	t
		、 / 区 天/旭 7 · ☑ 】 /C ∨ / 4X/削	,	
Ì	i	1		

自ら	行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分に関す	「る事項										
		【前年度(令和 年度)》	実績 】										
		産業廃棄物の種類											
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t									
		(これまでに実施した取組)											
		【目標】											
		産業廃棄物の種類											
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t									
		(今後実施する予定の取組)	•										
産業	廃棄物の処理の委託に	:関する事項											
		【前年度(令和 6 年度)実績】											
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり									
		全処理委託量	t	t									
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t									
		再生利用業者への 処理委託量	t	t									
	①現状	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t									
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t									
		(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を委託できる業績		っている。									

(第5面)

	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり		
	全処理委託量	t	t		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t		
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t		
	(今後実施する予定の取組 再生(リサイクル)業者へ				
※事務処理欄					

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの 一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物	物の排出の抑制に関する 引	事項														
	【前年度(令和 6 年月	【前年度(令和 6 年度)実績】														
①現状	産業廃棄物の種類	木くず ガラスくっ ンクリー 及び陶磁器	・コ 〈ず がれき類 〈ず	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	排 出 量	834.000 t 113.00	t 791.000	t 5.200 t	5.660 t	8.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	木くず ガラスくっ ンクリート 及び陶磁器	・¤ くず がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	排 出 量	800.000 t 100.00) t 700.000	t 4.000 t	5.000 t	7.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

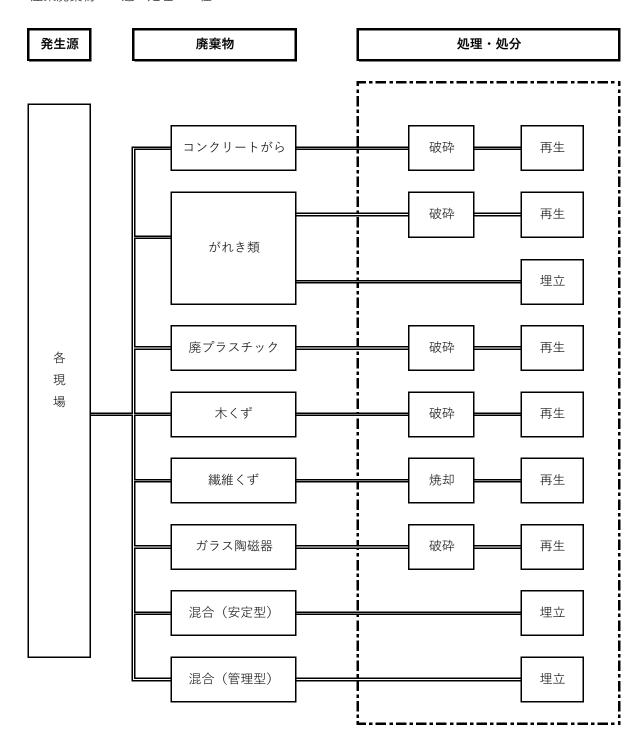
(第3面)

自ら行う産	産業廃棄物の再生利用に関	する事項															
	【前年度(令和 年度)																
①現状	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	1	t t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	1	: t	t	t	t	t	t	t
自ら行う産	産業廃棄物の中間処理に関	する事項													•		
	【前年度(令和 年度)実績】																
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	t	t	t	t t	t	t	t	t	1	t t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t	t	t t	t	t	t	t	1	t t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	t	t	t	: t	t	t	t	t	1	t t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃乗物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	1	t t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

(第4・5面) 																	
自ら行う産	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																
	【前年度(令和 年度)	実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量				+	+				+			,			,	
	【目標】			Ĭ		·					,						
@#T	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
産業廃棄物	産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
	【前年度(令和 6 年度	[年度(令和 6 年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	全処理委託量	834.000 t	113.000 t		5.200 t	5.660 t	8.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
①現状	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量				+	+		+		+							
		, .	, .	, .			, .		, .	ι .	, ,	, .	1	, ,	, .		<u>. j</u>
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず・コ ンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類	繊維くず	混合廃棄物										
	全処理委託量	800.000 t		700.000 t	4.000 t	5.000 t	7.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	: t
②計画	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	: t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	: t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	: t



------ 産業廃棄物の流れ

----- 委託処理部分の範囲